

A年 大齋節第2主日

主日のテーマ 「永遠の命」

特禱

全能の神よ、わたしたちは自らを助ける力のないことをあなたは知っておられます。どうか外は体を損なうすべての災いを防ぎ、内は魂を襲う悪念を除いてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

旧約聖書 創世記 12:1-8

詩編 第 33:12-22 編

使徒書 ローマの信徒への手紙 4:1-5,13-17

福音書 ヨハネによる福音書 3:1-17

¹さて、ファリサイ派に属する、ニコデモという人がいた。ユダヤ人たちの議員であった。²ある夜、イエスのもとに来て言った。「ラビ、わたしどもは、あなたが神のもとから来られた教師であることを知っています。神が共におられるのでなければ、あなたのなさるようなしるしを、だれも行うことはできないからです。」³イエスは答えて言われた。「はっきり言うておく。人は、新たに生まれなければ、神の国を見ることはできない。」⁴ニコデモは言った。「年をとった者が、どうして生まれることができますでしょう。もう一度母親の胎内に入って生まれることができるのでしょうか。」⁵イエスはお答えになった。「はっきり言うておく。だれでも水と霊とによって生まれなければ、神の国に入ることはできない。⁶肉から生まれたものは肉である。霊から生まれたものは霊である。⁷『あなたがたは新たに生まれねばならない』とあなたに言ったことに、驚いてはならない。⁸風は思いのままに吹く。あなたはその音を聞いても、それがどこから来て、どこへ行くかを知らない。霊から生まれた者も皆そのとおりである。」⁹するとニコデモは、「どうして、そんなことがありますでしょうか」と言った。¹⁰イエスは答えて言われた。「あなたはイスラエルの教師でありながら、こんなことが分からないのか。¹¹はっきり言うておく。わたしたちは知っていることを語り、見たことを証しているのに、あなたがたはわたしたちの証しを受け入れない。¹²わたしが地上のことを話しても信じないとすれば、天上のことを話したところで、どうして信じるだろう。¹³天から降って来た者、すなわち人の子のほかには、天に上った者はだれもいない。¹⁴そして、モーセが荒れ野で蛇を上げたように、人の子も上げられねばならない。¹⁵それは、信じる者が皆、人の子によって永遠の命を得るためである。

¹⁶神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。¹⁷神が御子を世に遣わされたのは、世を裁くためではなく、御子によって世が救われるためである。

※福音書は以下より引用しました。

聖書 新共同訳：(c)共同訳聖書実行委員会

Executive Committee of The Common Bible Translation

(c)日本聖書協会

Japan Bible Society, Tokyo 1987,1988